

平成27年度第1回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

1 日時 平成27年7月15日（水） 午後7時～午後8時20分

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

松本俊彦(委員長)、石松伸一、池田真人、宮崎舜賢、栗原正典、塙佳生、阿部円、石井真人、前田宥全、前田幸治（代理）、今村輝明、佐藤幸喜（代理）、岩崎隆浩（代理）、市川和浩（代理）

田中武、新治満（代理）、黒川眞、中橋猛、坂田直昭

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

（主な議題）

- 1 中央区の自殺の実態について
- 2 今年度の取組み
- 3 その他

[議事の経過]

- 1 中央区の自殺の実態について

事務局より中央区の自殺の実態についての報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

（事務局説明）

○平成26年度の自殺者総数は27人（男性20人、女性7人）であり、自殺者総数及び男性の割合が増加した。

○区の場合国や都と比較して自営業者・勤め人の割合が高く、原因・動機としては経済・生活、勤務、男女問題の割合が高い傾向にあった。

（委員からの意見）

○中央区の第一印象として自殺者は少なくもないが、決して特に多くもないと思う。原因・動機としては仕事関係や人間関係の悩みが多くなっている。

○中高年の自殺者は減ったものの、若年者の自殺者は横ばいあるいは微増傾向にあり、今後は若年者対策が必要になってくる。

- 2 今年度の取組み等について

事務局より今年度の取組み等について報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

（事務局説明）

○3月に実施するゲートキーパー講習会は東京商工会議所中央支部、区商工観光課の協力を得て職域を対象に実施する。また、自殺とアルコールの危険性についても啓発を行う。

○今後、他部署との具体的な連携について検討していきたいと考えている。

(委員からの意見)

○40代、50代の男性で公私共に責任ある立場の働き盛り世代をターゲットに実施することは確かに必要なことだと思う。

○今でもまだ自殺者が多いことに無関心な人が多いため普及啓発を徹底していくことが必要である。

○母体組織として具体的に何ができるか様々な研修会を通して組織全体で検討していきたい。

3 その他

平成27年度第2回中央区自殺対策協議会は、平成28年2月17日開催されることが決定した。